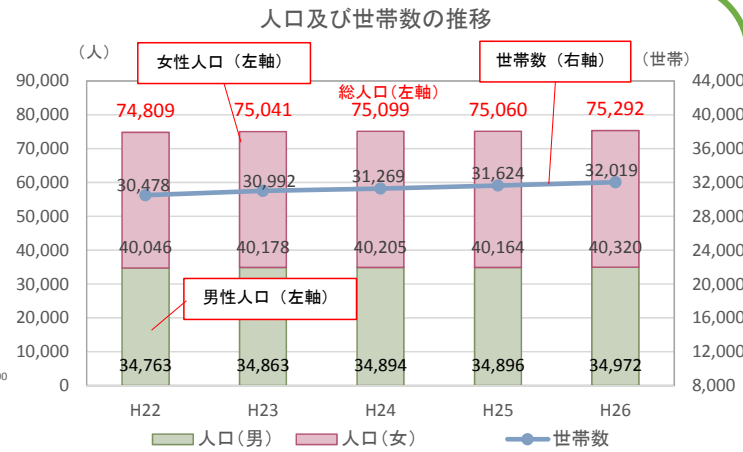
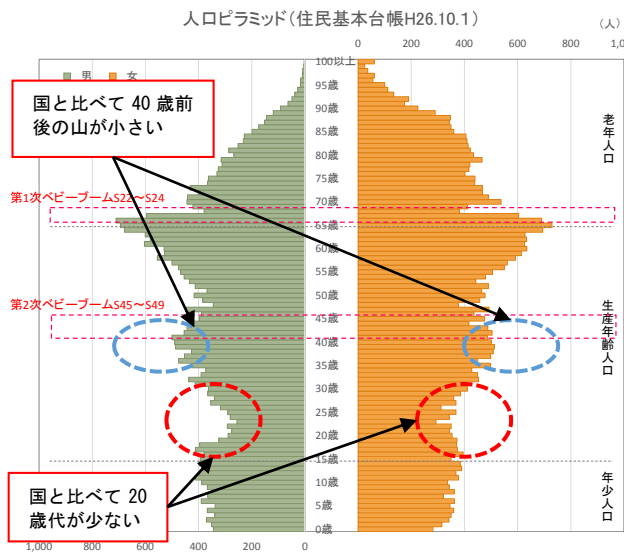


始良市人口ビジョン <概要版>

◆始良市の現状

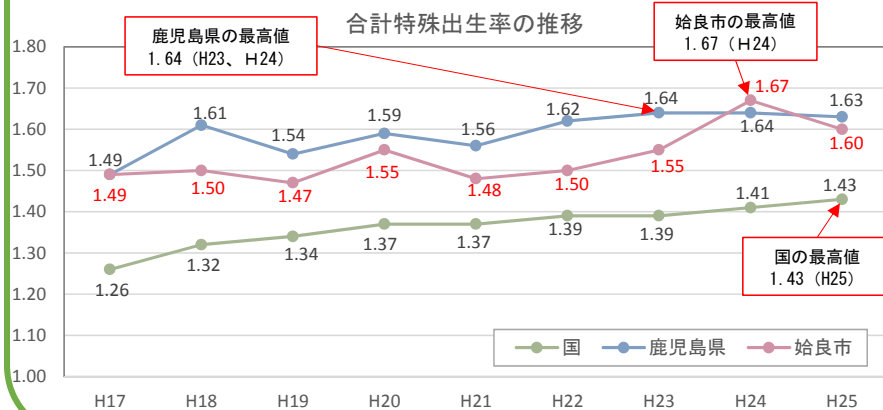
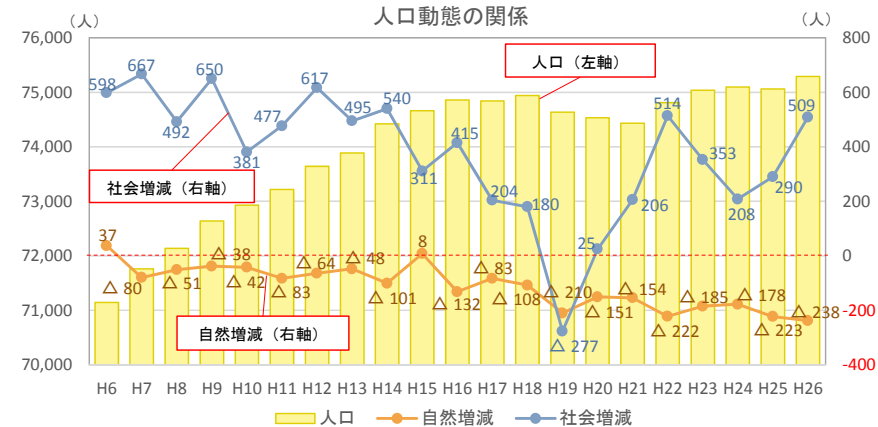
本市の人口は、昭和25年以降減少傾向でしたが、昭和45年から昭和49年の第2次ベビーブームや新興住宅地の造成等により、昭和45年を境に増加し続け、平成26年10月1日現在の推計人口は75,292人となり過去最高となっています。



平成26年10月1日現在の住民基本台帳の各年齢における人口ピラミッドをみると、星型(都市型)の構造であり、周辺地域から労働者が流れ込んで就業人口が増加した場合の形状です。特に、20歳代や40歳代に凹凸が見られ、70歳前後で急激に減少しています。国全体の人口ピラミッドと比較すると、本市は40歳代前後の山が小さく、20歳代の凹みが大きくなっています。

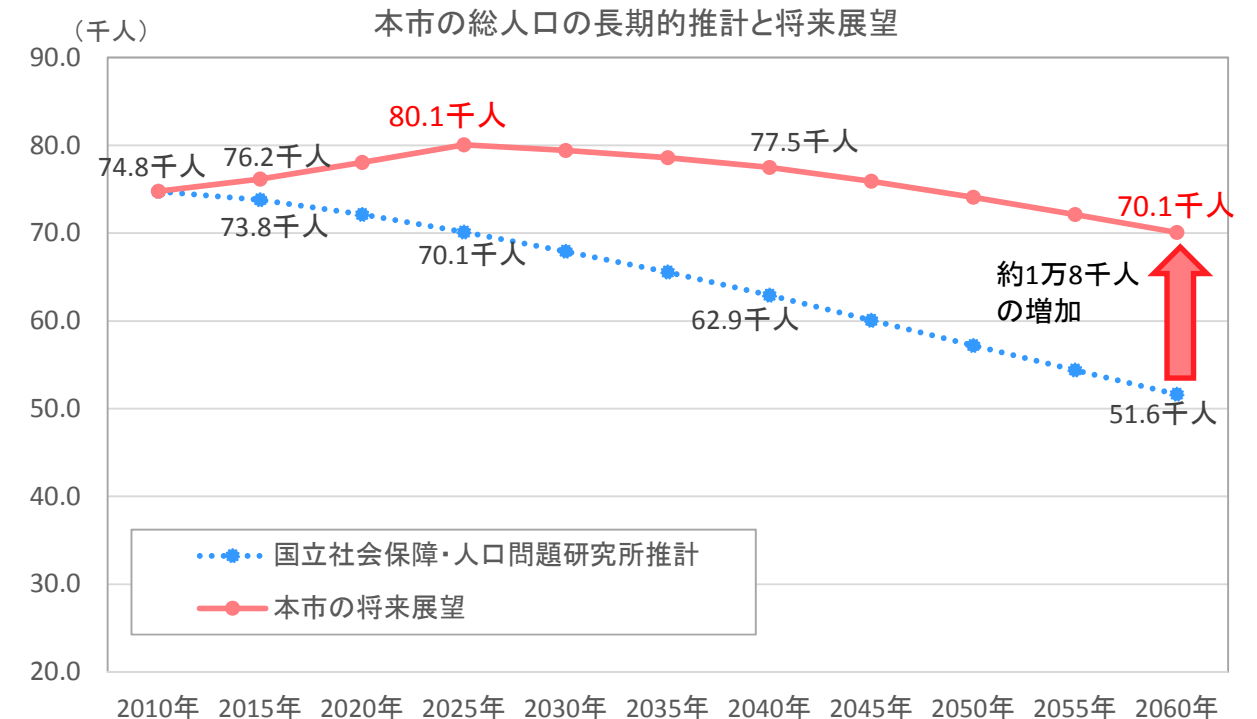
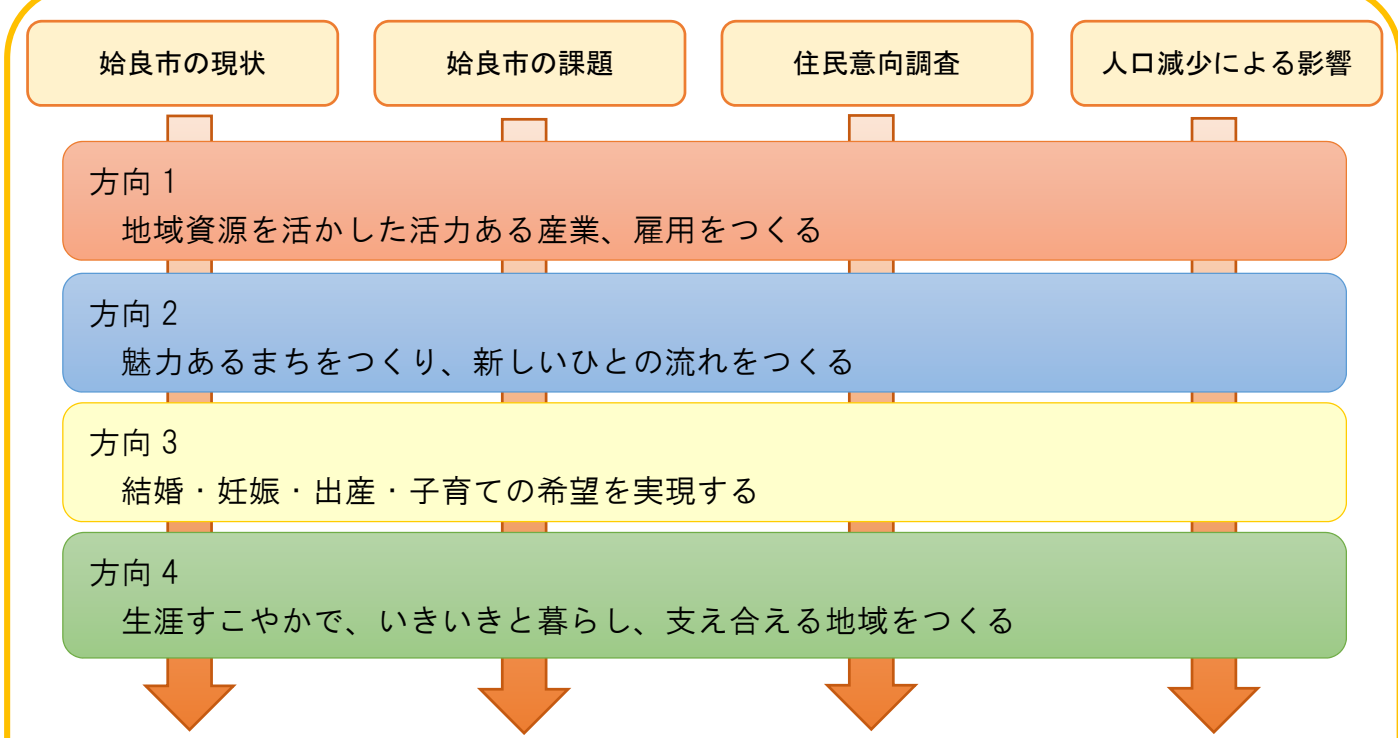
本市の自然動態は、出生数と死亡数の差は開き自然減が大きくなっています。

社会動態は、転入数が転出数を上回る状況が続いており、自然減より社会増が大きいことから人口の増加が見られます。



合計特殊出生率の推移をみると、全体としては全国、鹿児島県、本市ともに増加傾向ではありますが、県や本市は年により増減を繰り返している状況です。

◆始良市の将来展望



■本市の将来展望■

今後総合戦略における施策誘導により、総合戦略の期間(5年間)に加え施策効果が持続すると予測される期間(5年間)の計10年間において、社会増減を2.0倍程度増加させ、その後徐々に減少させました。上記設定を踏まえ、2025(平成37)年に8万人、2060(平成72)年に7万人を目標とします。